

りょうぜん天蚕の会だより

【第 17 号】



発行責任者 りょうぜん天蚕の会 会長 菅野秀一（電話・FAX 024-586-3030）

【 当会の活動方針 】 霊山の豊かな自然環境を活かし、野蚕である「天蚕」の育成と、その飼育体験交流や独特の風合いをもつ萌葱色の繭・絹糸の新たな加工や商品化による地域特産品の創成をはかり、活力ある地域づくりを推進する。また、会員一丸となって繭の生産、新商品開発に取り組むとともに、小学校等への観察用天蚕配布、県内外天蚕関係者との交流及び展示PR活動等を行う。

春暖の候、皆様には益々ご健勝のことと存じます。平成17年2月に設立した「りょうぜん天蚕の会」はこの度17年目を迎えました。これもひとえに会員皆様の熱心な活動と設立以来、伊達市、伊達市観光物産協会、大日本蚕糸会、福島県関係機関等のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

令和2年度の繭の収穫は山付け8,000粒の実施に対し約4,000個の50%でした。館ハウスの飼育樹改植のハウス2棟のエゾノキヌヤナギが幼木であったこと、また、他のハウスの飼育樹も老弱化が進んでおり、更なる改植が必要であることを強く感じました。

昨年末から新型コロナウイルスの感染が拡大していることから例年行ってきた「天蚕まつり」をメインとする各種行事は中止や縮小をせざるを得ませんでした。天蚕の飼育に関する作業は会員の努力により実施してまいりました。

当会設立17周年である今年は、会員一同、意を新たにさらなる発展を目指し努力したいと思いますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

（会長 菅野秀一）



令和2年3月14日総会前に天蚕卵の袋詰め作業(中川集落センター)（2頁に関連記事）
（福島県県北農林事務所伊達農業普及所の目黒氏(左)と依田所長(右)が状況視察）

令和2年度総会を開催

3月14日(土) 午後3時より霊山町中川集落センターにおいて会員20名が出席し第16回総会を開催した。菅野会長の挨拶に引き続き伊達市霊山総合支所佐藤三男支所長様、県伊達農業普及所の依田所長と目黒氏より祝辞をいただいた。議長に大友靖子さんを選出し、元年度事業報告、一般会計報告並びに2年度事業計画、予算案が原案通り承認された。

事業報告で八島事務局長から①ふるさと納税返礼品の売り上げ大幅減、②飼育樹の剪定作業において未収穫繭が多く見られたこと、③道の駅「伊達の郷りょうぜん」の売り上げが伸びない等の状況に対し、多くの質疑・提案があった。今年度は新商品の開発と販路拡大が課題となる。



八島事務局長の事業報告



目黒氏 依田所長 佐藤支所長

天蚕卵の選別と袋詰め作業

総会に先立ち午後1時から出席者全員で天蚕卵8,000粒の袋詰め(約800袋)を行い、山付け作業の準備を整えた。

(表紙に関連写真掲載)



青いメッシュの袋に卵を10粒入れる 川辺さん、八城さん、八島恭子さん、斎藤さん、大山さん、柳沼さん、丹治さん

飼育樹の剪定作業

2月23日(日) 飼育ハウスにおいて9名の会員が参加し、剪定作業を行った。

カミキリムシによる樹株の食害で樹勢の低下が目立ち剪定の際に伐根した樹木も多数。他のハウスの樹も同様な状況が散見されることから、今後改植が急務である。

剪定作業→



防虫剤散布作業

3月20日(金) 飼育ハウスにおいて4名の会員が参加し飼育樹(エゾノキヌヤナギ・クヌギ)の防虫剤の散布を行った。

カミキリムシによる樹株の食害やマイマイガの幼虫による食葉の害を防止するための重要な作業であり、今後は散布、回数の調整が重要となる。

散布作業の菅野会長→



ハウスネット掛け、天蚕山付け

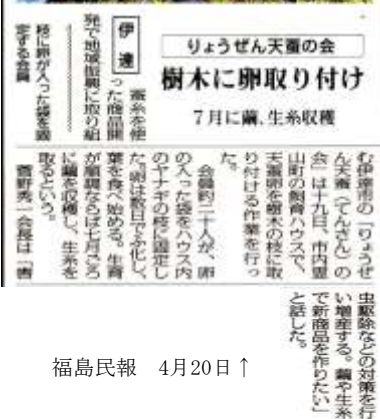
4月19日(日) 会員15名で山付け作業とハウスのネット掛け作業を実施した。女性会員は一袋に10粒入った種を飼育樹(エゾノキヌヤナギ)に付けた。早朝から小雨模様で作業が危ぶまれたが会員の気迫が通じたのか徐々に天気も良くなり、残作業が生じたものの7千個を山付けした。

残作業は、26日にハウスのネット掛けを行い、5月2日に10名でクヌギハウスのネット掛けと山付けを行った。



作業状況(ネット掛け、山付け)

山付け 大山さん、丹治さん



福島民報 4月20日↑

天蚕繭の収穫作業

7月12日(日)午前9時半より曇り空の下、会員16名が参加し今年度初の繭収穫作業を行った。今年は6月下旬から天候不順が続いた上に、コロナ感染防止のために飼育期間中の作業にも影響したため減収となった。しかしながら二本松市の鈴木会員(980個)、飯坂町の島貫会員(146個)、郡山市の大山会員(165個)、掛田の八島時男会員(780個)などが小規模な家庭菜園的飼育ながら回収率80%に近い状況は特筆に値する。

特に八島時男会員の新ハウス1棟は昨年度より育てた飼育樹エゾノキヌヤナギの樹勢が良く、マダラカミキリの食害が全く無かったことによると思われる。

菅野会長から反省点として共同飼育ハウス内の①側板の更新、②飼育樹の改植、③防草シート敷設など飼育ハウスの整備が提案された。また、総会時に八島事務局長から報告があった野鼠対策が緊急の課題である。



収穫繭の塵取り作業の八島恭子さん、八城さん



八島時男さん、島貫さん、河田さん、石塚さん

掛田、大石、保原の各小学校で繭玉工芸

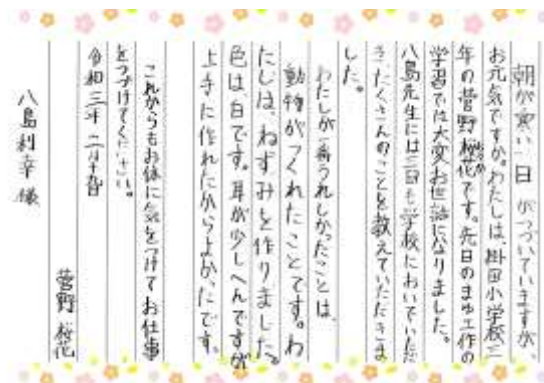
掛田小学校3年生と大石小学校3・4年生は6月の1か月間、八島事務局長の指導の下、養蚕に取り組んだ。掛田小は約300頭、大石小は約3,000頭を飼育した。体重、身長など毎日記録を取り、4回脱皮の後の皮を収集したりした。

掛田小の生徒は収穫した繭で生糸取りをして、その生糸でストラップを製作したり、繭を染めて様々な動植物の工作に励んだ。3年生20名からお礼の手紙が届きました。

保原小学校では総合学習として繭玉工芸を行った。貴重な経験を基に興味と練習と工夫したこと、の発表会を行ったとのこと。3年生15名からお礼の手紙が届きました。各校1例を紹介します。



令和2年度 掛田小学校3年生一同



保原小学校での繭玉工芸の様子



繭玉工芸の名人さんへ

このあいだは繭玉のことをたくさん教えてもらってありがとうございました。自分が作った作品を家に持ち帰ったらお母さんが「自分で作ったの、すごいね」と言ってくれました。まゆ玉は保原のとく商品だったと知れてうれしかったです。これからも元気におすごしてください。 奥村七海（おくむらななみ）より

掛田小学校の小林さん「天蚕の作文」で優秀賞

掛田小学校六年 小林はるのさんは夏休みの課題として「伊達市民憲章作文コンクール」に応募し、天蚕に興味を持ちその様子を詳しく表し、地域の伝統文化を引き継いでいくことへの思いを述べ、伊達市教育委員会高野委員長に「優れた作文」として褒められるとともに「優秀賞」を受賞されました。ここに全文を紹介します。(コンクールの詳細は[だて市政だより] 2月号にあります)

「みんな、天蚕って知ってる？」 掛田小学校六年 小林はるの

私の祖母は、毎年六月になると、緑の蚕を持ってきます。名前は「天蚕」。天蚕は七センチメートル位の大きさの綺麗な緑色の蛾の幼虫です。山にあるクヌギやコナラの葉を食べて育ちます。葉は結構堅いのですが、私が驚くほど、いつも元気に食べています。

なぜ祖母が天蚕に興味を持ったのか、天蚕の関わりについて話を聞くと、きっかけは着物だったそうです。黄色から黄緑へと変化する糸が、天蚕からとった自然の色だと知り、その色の美しさに心を動かされたそうです。

祖母は、その後「りょうぜん天蚕の会」に入り、活動をはじめました。四月の終わりに、天蚕の食べる木に卵をつける「山つけ」という作業をします。天蚕の会では、ハウスの中のコナラなどの枝に袋に入れた卵をくくりつけます。ふ化すると、蚕のようにえさをあげなくても、天蚕は自分で葉を選んで食べるので、とても手間が省けるそうです。しかし天蚕の近くには、天敵がいっぱいいます。特に幼虫はクモ、カエル、アリにおそわれる危険があり、これらが入らないように防ぐ必要があります。また、病気から守るためには、草刈りも大切な仕事となっているそうです。自然を相手に天敵や病気から守るには、様々な知恵や努力が必要なることを知りました。天蚕は七月の初めまでに、四回も脱皮し五れい幼虫になった後で、サナギになりマユを作ります。ポニョポニョしていたマユが堅くなった頃に収穫です。卵をとるサナギ以外は、熱処理をしてサナギを殺します。マユを使って糸取りをするためです。とった糸で機織りをして着物、財布、名刺入れなど色々な商品にしていくそうです。サナギを殺してしまうのはとてもかわいそうですが、それも昔からの工夫の一つであることを知りました。

伊達市の道の駅でも、天蚕の商品を売っていることを教えてもらい、早速行ってみました。入って左側に天蚕コーナーがあり、イヤリング、名刺入れ、バック、ブローチ、ミニブーケ、におい袋、ネックレス。思ったより商品の種類が多くて驚きました。しかも、その商品に使われている一本一本の糸はつやがあって、とっても綺麗です。私は、お小遣いで買ったかったのですが、全部千円以上でとても買えません。なぜこんなに高いのかを考えてみました。そして、卵から商品にするまでには多くの手間が必要で、大量生産ができないとても貴重な物だからだということに気が付きました。手間をかけた品物の中には、大事なものを入れたいと思うし、誰もが大切に使うと思います。

祖母に蚕から糸をとる仕事は、千五百年前から行われていると聞きました。美しいものを大切に思い、手間を掛けて作り続けた人々がこの豊かな文化を守り続けていることに気付きました。そんな文化が続いている伊達市。今度は、私たちがこの素晴らしい文化を受けついでいこうと思います。

霊山町文化祭に協賛展示

10月31日(土)～11月1日(日)霊山町体育館で恒例の霊山町文化祭が開かれ天蚕製品の協賛展示を行った。八島事務局長、八島時男会員が説明に当たった。

今年度はコロナ禍の下で文化祭の開催が危ぶまれたが、文化団体会員一同の年一度の発表の場として熱意が大きく開催に漕ぎつけたもの。町老人会作品展も同時に開催されたため連日盛会であった。

天蚕製品展示と八島時男会員と八島事務局長 →



天蚕製品の開発研修会を開催

10月3日(土)午前9時から八島事務局長宅を会場として会員13名が参加し天蚕製品の開発研修会を開催した。伊達市の「ふるさと納税返礼品」に関わる商品の取り扱いが今年度より「リンベル(栴 RING BELL)」が担当することになり、「天蚕まつり」が中止となったのを契機にリンベル(栴)商品開発担当の佐藤真一氏を招き、有意義な質疑応答が交わされた。

佐藤氏からは下記のようなアドバイスをいただいた。

- ①ブランド化すること
- ②パッケージに力点を置く
- ③パッケージの少数単位受注OKで安価化できること
- ④パンフレットに商品の物語性を載せること
- ⑤パンフレットの写真をリンベルで行われること
- ⑥ふるさと納税返礼品の数量を増加すること
- ⑦同じショールでもタイプの違うものを製作すること
⇒房のないもの、柄物などを取り入れる

会員からは、貴重種であるとか、繰糸の困難性、繊維のダイヤモンドという輝きのみならず紫外線のカット作用があるなどの特殊性の強調、パウダー化して健康食品開発なども視野に入れては等の貴重な意見があった。

(写真上 講師リンベルの佐藤真一氏 写真下 熱心に聴講する会員)



ネット外しと商品製作を実施

10月18日(日)男子会員10名は飼育ハウスのネット外し作業、女子会員4名は展示商品の製作を行った。ネット外しはパイプハウスが積雪の重さで押しつぶされないよう実施している。商品製作は「道の駅 りょうぜん」での販売品としてキーホルダー等の小物づくりを行った。



菅野善正さん、斎藤慎一さん、島貫さん、河田さん、菅野保雄さん、八島時男さん



末永さん、八島利幸さん、大山さん

母蛾検査を実施

11月15日(日)9時から中川集落センターにおいて会員12名が参加し母蛾検査を実施した。今年は天候不順もあり牡・雌蛾の成虫羽化の時期が大いにずれ込んだためペアリングできた個体数は52であった(昨年85)。検査の結果疑わしい物は皆無であった。



顕微鏡で検査中の三田村さん、八島時男さん



母蛾粉碎中の河田さん、八島局長、大山さん、柳沼奈枝さん、斎藤義治さん、鈴木静子さん、斎藤慎一さん、八島恭子さん

白鷹天蚕の会から「天蚕布」完成のたより

5月13日山形県白鷹町の「白鷹天蚕の会」事務局から「りょうぜん天蚕の会」から天蚕卵の提供のお陰で天蚕布が完成したという山形新聞の記事のコピーを添えてお礼の手紙が届いたので紹介します。

(山形県白鷹町 須田 瞳 さんより)

「りょうぜん天蚕の会」の皆様ご無沙汰しております。新型コロナウイルスの感染拡大により県境を越えての移動はもとより様々な活動が自粛されています。東北地方では新たな感染者もなくなり落ち着いてきたように思いますが会員のみなさんもお変わりなくお過ごしでしょうか。山形県でもこれまで約70人の感染が確認されましたが白鷹町内での感染者はなく、天蚕の会では今年の活動に向けて先月から動き出したところです。

ご報告が遅くなってしまいました。が、おかげさまで、昨年の繭の収穫で4反目の「白鷹天蚕紬」が完成し2月に銀座の呉服屋「もとじ」に納品することができました。目標としている一年に一反の完成はなかなかできずにいますが、4反目も「りょうぜん天蚕の会」より支援をいただいたおかげで完成できたものです。たいへんありがとうございました。こちらが助けていただければ幸いです。

今月末で首都圏の非常事態宣言も解除になると思いますが、一日でも早く日常が戻ることを願っています。「りょうぜん天蚕の会」の皆様もお体を大切にお過ごしください。そして、またいつか皆さんで深山においでください。 山形新聞 3月23日

白鷹町で、希少価値の高い天蚕糸と反物作りに取り組む「しらたか天蚕の会」(須田信一会長)が4反目を制作した。天蚕の卵や繭の「不作」に苦勞しながらも、福島県の団体の助けもあり生産の流れをつないだ。完成品は2月中旬、東京・銀座の呉服商に納められた。

「天蚕の会」が4反目制作

天蚕はヤマユガの幼虫。一般的な蚕(カイコ)と違い、屋外でクヌギなどを食べて育つ。繭糸は薄緑色で反物はベージュ色。飼育は気候や動物の影響を受けやすく、糸の量は一般的な蚕に比べて少ない。同町では深山地区の畑で、住民や機織り職人らでつくる同会が2012年から飼育、繭からの糸取り、機織りまで一貫して担っている。幼虫の一部は成長させて卵を採取し、翌年の飼育につなげている。

4反目に向けた生産では、18年に飼育を試みた卵の出来が悪く、急きょ福島県伊達市の生産団体「りょうぜん天蚕の会」から卵を譲り受けた。成虫に育てたが繭が少なく、辛うじて19年分の卵を確保。19年は繭約2500個から糸を取り、過去の生産分と合わせ、町内の小松織物工房が長さ13メートル、幅40センチの反物に仕上げた。

着物にすれば1着数百万円の高がつく高級品。須田会長は「一時は心配したが、19年度の繭が想像以上に大きく、多くの糸を取ることができたと完成に胸をなで下ろしている。(五十嵐聡)

白鷹町産の天蚕糸で制作された反物。銀座の呉服商に納められた。

福島から卵譲り受け、生産つなぐ

白鷹「天蚕観察会」を開催

(白鷹町 須田 瞳 さんからメール)

7月27日(月)町内の2つの小学校の3年生が「天蚕観察会」の園場を訪れました。写真はその時の様子です。また、今週は置賜農業高校の生徒も見学に訪れます。



新会員紹介

斎藤慎一さん
(福島市渡利)



「フェイス・タオル」の試作

大山会員は天蚕屑繭のみを煮沸し、ずる引き繰糸、その生糸を手編み機を用いて織り「フェイス・タオル」化した。肌さわりのいい、ほんのり淡い黄緑色に光る色合いが優しく写り、繭に含まれる成分と相まって「美顔」間違いなしと思われる商品となった。早速、会員一同に使用して頂き、使用後の様子を聞き取ることにした。



【天蚕糸には蛋白質のセリシンとフィブロインが多く含まれている。特に親水性のセリシンが天然保湿因子あるから、人の肌に優しいことが証明されている。古くは舞子達は化粧落としとして繭を直接的に用いていた。石鹸洗顔により垢と同時に皮質を取り除くが、天蚕タオルは人の皮質に最も近い蛋白質を多く含み、抗酸化作用により肌の劣化を補うものと思われる。タオルに石鹸をつけ泡立ててから洗顔願いたい】

道の駅「伊達の郷りょうぜん」3ヵ月間閉鎖

新型コロナウイルスの感染防止のため、当会最大の売り上げ店「道の駅りょうぜん」が3か月にわたり閉鎖されたため売り上げが大幅に落ち込んだ。また、再開店しても売り上げ商品の大半が「繭セット」と「天蚕ストラップ」などの低価格商品のみであった。今年度末に全線開通される東北中央道が新たな顧客を呼び込めるか、どのように影響するのかを見定めたい。

恒例の「天蚕まつり」開催中止

例年、10月3日を「テンサン（語呂合わせ）」の日と定めて「天蚕まつり」を開催して展示販売を行って来たが、新型コロナウイルス感染防止のため、あらゆるイベントが中止に追い込まれている。当会も役員会で検討したが「三密を避ける対策を講ずることが不可能である」と判断し中止するに至った。

天蚕の会パンフレット刷新（第3版）

この度、当会のパンフレットを刷新しました。改定点は当会結成由来ページの「会長と仲間たちの写真」（左）、販売・飼育ハウスへのアクセスページの「写真と地図」（右）です。



「冬虫夏草」から新物質
細胞成長促進し認知機能改善

細胞に生産する物質を導く健康補助食品「冬虫夏草」から新物質「ナトリド」を開発しているバイオ・研究所（本社・盛岡市）は、この新物質を応用して生体細胞の成長を促進する新物質を開発した。ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。

ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。

ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。

ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。ナトリドは、冬虫夏草から抽出された成分で、細胞の成長を促進する作用があり、認知機能の改善に効果がある。

令和3年1月29日 福島民報 ↑

会員の活動スナップ



繭の収穫 大山さん、斎藤義治さん



繭の収穫 菅野善正さん、河田さん、菅野保雄さん



母蛾検査 検体の粉碎作業



クヌギの剪定作業 八島利幸さん、斎藤義治さん



天蚕卵の袋詰め 安田さん、大友さん、鈴木さん



繭の塵取り作業 島貫さん、大山さん、柳沼さん、八城さん



新商品開発研究 質疑応答中の会員



小学校で天蚕の学習と繭玉工芸 八島利幸さん、大友さん

トピックス

読者が選ぶ県内十大ニュース

- 1 古関裕而夫妻がモデルの朝ドラ「エール」放送
- 2 東京五輪・パラリンピックが延期
- 3 常磐線9年ぶり全線開通
- 4 中合福島店が閉店
- 5 郡山市の飲食店でガス爆発
- 6 県産酒が全国新酒鑑評会で震災以降最多33点入賞
- 7 7都府県で緊急事態宣言
- 8 渡部恒三さんが死去
- 9 甲子園交流試合に磐城が出場
- 10 柳美里さんが全米図書賞

令和2年12月15日 福島民友

全国の小中高臨時休校

首相要請、2日以内
入試卒業式 万全の
準備を要する

保育所学童は原則開所
いわき市 図書館

令和2年2月28日 福島民友

中合 閉店へ

福島店 8月31日
閉店へ 16年の歴史

駅前再開発、契約満了
売り上げ低迷、消費の百貨

令和2年5月27日 福島民友

五輪来年7月23日開幕
8月8日閉幕、IOC承認

ソフト福島開幕「変えろ」

志村けんさん死去
ドラッグ70歳 新型コロナ肺炎

令和2年3月31日 福島民友

祝 東北中央自動車道 伊達桑折IC～桑折JCT
東北自動車道と国道4号が東北中央自動車道により接続！

伊達桑折IC～桑折JCT
延長2.0km
開通式典

令和2年8月2日(日) 11時00分～
伊達桑折折町松原字川原田内
桑折JCT料金所

令和2年8月2日 福島民友

125万人避難指示

九州各地、豪雨拡大
熊本、死者49人に

令和2年7月7日 福島民友

菅新内閣発足

菅義偉内閣の閣内閣
第99代首相に選出

縦割り行政、既得
デジタル庁新
設

1日最多8人感染
県内 福島、須賀川、郡山

令和2年9月17日 福島民友

緊急事態 初宣言

新型コロナ特措法
緊急事態宣言発令までの流れ

首相「接触8割
減」

来月6日まで、7都府県

令和2年4月8日 福島民友

バイデン米大統領就任

パリ協定復帰、国境壁中止

令和3年1月22日 福島民報

深夜、強烈な揺れ

相馬、国見、新地震度6強

本県沖M7.1 各地けが人通報

東日本大震災の余震

ガラス粉々、
県内原

令和3年2月14日 福島民友